

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：第八小学校建具改修工事					
補助事業者名	武蔵村山市					
実施場所	第八小学校（三ツ藤二丁目 50 番地の 1）					
補助事業の成果の目標	<p>第八小学校は昭和 49、50、52 年に建設し、建設後 40 年余り経過しているため建具の老朽化が激しく、既存ゴムの摩耗等による雨水の漏水が起り、隙間風も多く、また開閉が困難な箇所が多数あり、劣悪な教育環境となっている。</p> <p>このことから、建具の改修をすることにより、児童の学習の場である教育環境の改善を図るものである。</p> <p>【参考指標】 第八小学校児童数 682 人（平成 26 年 5 月 1 日現在）</p>					
補助事業の内容	校舎窓枠等建具改修					
補助事業の始期及び終期	平成 24 年度～平成 27 年度					
事業費及び交付金額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度 (予定)	計
	事業費	円 3,465,000	円 40,740,000	円 47,520,000	円 57,522,000	円 149,247,000
	交付金額	500,000	20,000,000	25,000,000	48,000,000	93,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 改修後にアンケートした結果、「窓の開閉がスムーズになり、児童でも安心して行うことができるようになった」との回答が得られ、児童の学習の場である学校教育における教育環境の改善が図られ、児童が快適に教育を受けられるようになったことが確認できた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事中の看板に掲載した。 ・市ホームページに掲載した。 ・「教育むさしむらやま」で保護者に通知した。 					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>昨年度は普通教室棟をはつり工法で夏休み期間中に工事を行ったが、騒音が発生した。今年度は特別教室棟であるため、夏休み期間中も出勤する教員の職務に支障が出ないようにカバー工法を採用した。結果、工事中の騒音が少なく工期も短縮することができた。</p> <p>ただ、採光性ははつり工法の方が高いので、次年度の三期工事（普通教室棟）においては、教室側ははつり工法を、廊下側はカバー工法をそれぞれ採用することとしたい。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					